

今、そこにある危機

南海トラフ巨大地震 その時のために 今、できることを

南海トラフ地震とは、

静岡県の駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源として、
概ね 100 年～ 150 年間隔で繰り返し発生してきた大規模な地震です。

この南海トラフ地震の中でも、科学的に考えられる最大クラス
(マグニチュード 9 クラス) のものを「南海トラフ巨大地震」といい、
発生すると本県でも甚大な被害が想定されています。

巨大地震が起こっても、冷静に行動できるように
普段から備えておきましょう。



南海トラフ想定震源域

最大震度7

最大津波高17m

「宮崎県地震・津波及び被害の想定について」(令和2年3月)より



宮崎県

南海トラフ巨大地震発生!

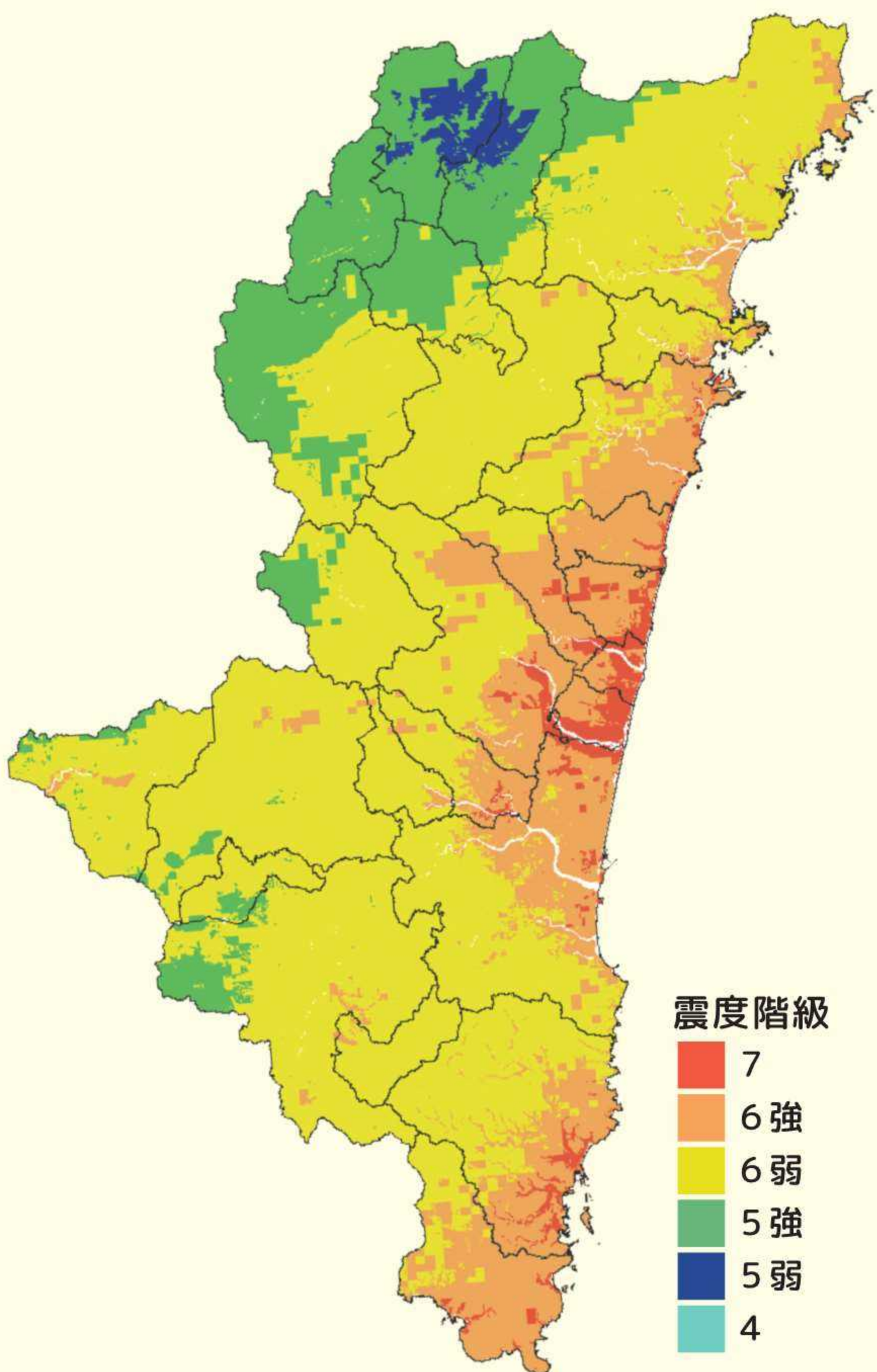
~その時すぐに動けますか?~

最大クラスの地震が発生すると、津波と揺れにより大きな被害が発生すると想定されています。

被害想定 (県想定)	人的被害(死者数)	建物被害(全壊棟数)	避難者(1週間後)
	約1万5千人	約8万棟	約37万人

南海トラフ巨大地震による県内の震度分布

南海トラフ巨大地震が発生すると県内全域が強い揺れに襲われると想定されています。



最大震度	市町村				
震度 7	宮崎市 西都市 川南町	延岡市 国富町 都農町	日南市 高鍋町 門川町	日向市 新富町	串間市 木城町
震度 6 強	都城市 西米良村	小林市 美郷町	えびの市	三股町	綾町
震度 6 弱	高原町 日之影町	諸塚村 五ヶ瀬町	椎葉村	高千穂町	

震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
<p>物につかまらないう歩くことが難しく、棚にある食器類や本で落ちるものが多くなります。</p>	<p>立っていることが困難になり、固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもあります。</p>	<p>耐久性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなります。</p>	<p>耐久性の高い建物でも、傾くものや、倒れるものが多くなります。</p>

地震が発生したら、どうする?

周囲の状況に応じて、あわてず落ち着いて まず、命を守る行動を!

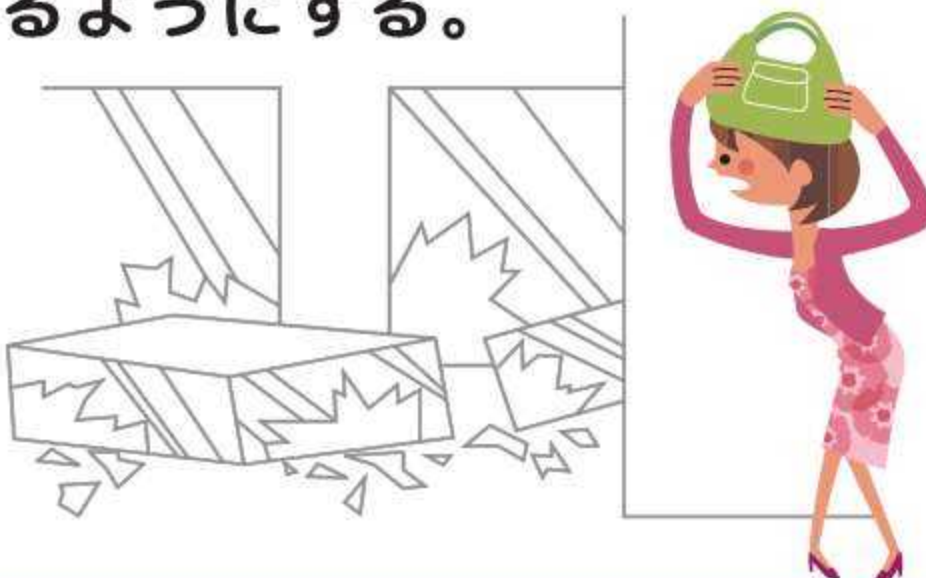
家の中では

座布団などで頭を保護し、大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。あわてて外へ飛び出さない。もし、火事が発生した場合には可能ならば火の始末、火元から離れている場合は無理して火元に近づかないようにする。



商業施設などでは

施設の誘導係員の指示に従う。頭を保護し、揺れに備えて身構える。あわてて出口・階段などに殺到しない。ガラス製の陳列棚や吊り下がっている照明などの下から離れるようにする。



街にいるときは

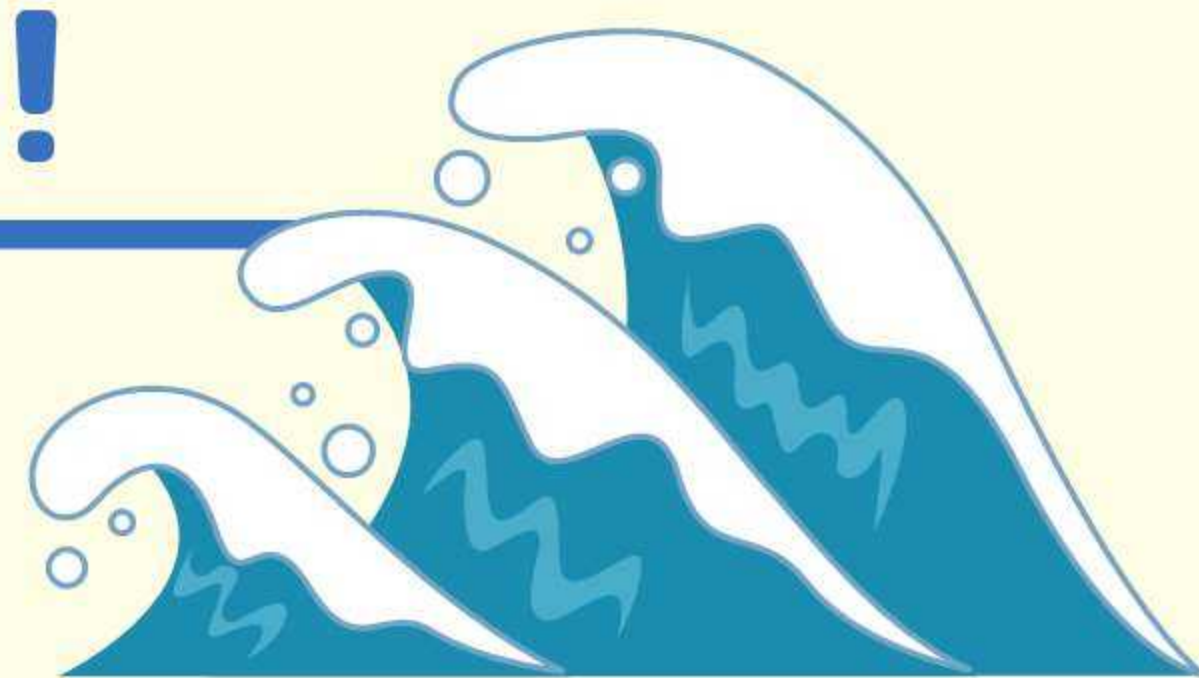
ブロック塀や自動販売機など倒れてきそうなものから離れる。看板、割れた窓ガラスの破片が落下することがあるので建物の周囲から急いで離れる。



基本の安全確保行動

まず低く! 頭を守り! 動かない!

地震発生直後は、津波の危険性が！



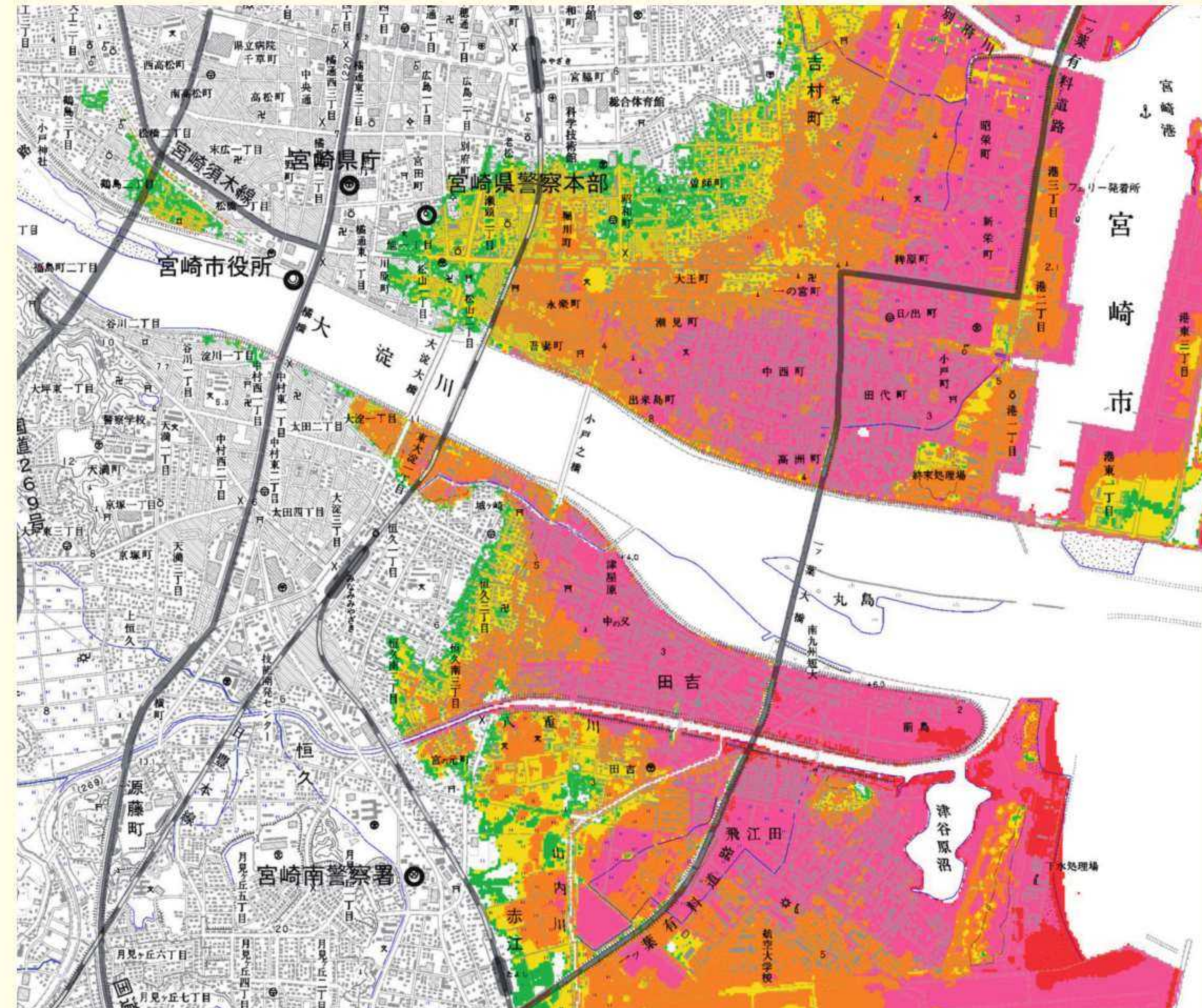
南海トラフ巨大地震発生後、本県における最大津波高は**17m**、最短津波到達時間は**14分**と想定されています。

沿岸の各市町の津波高及び津波到達時間（県想定）

市町	津波高	到達時間	市町	津波高	到達時間
延岡市	14 m	17分	高鍋町	11 m	20分
門川町	12 m	16分	新富町	10 m	21分
日向市	15 m	17分	宮崎市	16 m	18分
都農町	15 m	20分	日南市	14 m	14分
川南町	13 m	20分	串間市	17 m	15分

・津波高は市町毎に最も高い値を表示
 ・津波到達時間は、海岸線から沖合約30m地点において地震発生直後から水位の変化+1mになるまでの時間を表示

津波浸水想定（宮崎市）



浸水深 (m)
 ■ 10.0m以上 20.0m未満
 ■ 5.0m以上 10.0m未満
 ■ 2.0m以上 5.0m未満
 ■ 1.0m以上 2.0m未満
 ■ 0.3m以上 1.0m未満
 ■ 0.3m未満

各地域の津波浸水想定は宮崎県庁のHPで確認できます。

宮崎県津波浸水想定

検索



津波はおそろべき破壊力で人や家屋を飲みこみます。



東日本大震災では、津波が河川を50kmも遡上していたことが確認されており、河川流域でも注意が必要です。

津波から身を守るには、どうする？

唯一「逃げる」しかありません。

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で「大津波警報」、「津波警報」または「津波注意報」が発表されます。



津波から避難する4つのポイント

① 地震の揺れの程度で自ら判断しない

揺れがそれほど大きくなくても津波が起きるケースは、過去にもありました。津波の危険地域では小さな揺れでも、揺れを感じなくても、まずは避難を最優先にしましょう。



③ 津波の“俗説”を信じるな

「この地域には津波はこない」などの根拠のない俗説を信じずに、気象庁等の信頼性が高い情報に耳を傾けましょう。



② 避難の際には車は使わない

原則として、車で避難するのはやめましょう。東日本大震災の際、沿岸部各地で避難しようとする車で渋滞が発生。そのために津波にのみ込まれる被害が発生しました。



④ “遠く”よりも“高く”に

すでに浸水がはじまってしまい、避難が困難な場合は、遠くよりも高い場所、例えば近くの高いビルなどに逃げ込みましょう。津波避難ビル・タワーがあればそこに避難しましょう。



あの日抱いた災害への恐怖と心構え 今、どうなっていますか？

2011年3月11日 東日本大震災

東日本大震災による主な被害

【死者・行方不明者】約2万2,300人

【住宅被害】約116万戸

(消防庁まとめ、令和2年3月1日現在)

2011年3月11日の午後2時46分頃、宮城県三陸沖で深さ24kmを震源として、国内観測史上最大規模となるマグニチュード9.0の「東北地方太平洋沖地震」が発生。

震度4以上の揺れは2分以上続き、宮城県北部で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県などでは震度6強を観測。北海道から九州地方にかけて、震度6弱から震度1の揺れが観測されました。

この地震のあと、ただちに津波が発生。津波による被害は、東北地方の太平洋沿岸地域で特に甚大で、巨大な水の壁と化した大津波が防潮堤を乗り越え、すさまじい勢いであらゆるものを押し流しました。

津波の高さは多くの沿岸部で8mを超え、建物の5階まで浸水した地域もありました。

忘れない あの災害と日頃の備え

被災者の声を一部ご紹介します。

2日前には逃げたのに・・・

(宮古市 50代男性 建設会社社長)

震災の2日前の3月9日に三陸沖で地震が発生し、津波注意報が出されました。

宮古の沿岸に住む80歳を超える私の叔母は、その注意報を聞いて逃げています。

逃げたけれども、そのとき津波は50センチしか来なかったのです。

私が一番ショックなのは、9日に逃げているのに、11日には逃げなかったという事実。「この間とは違うから」と言っても頑として言うことを聞かず、説得していたお嫁さんともども亡くなってしまったのです。

震災のあの日、地元のラジオ局は、地震発生後に気象庁が発表した「14時46分津波の第一波観測、大船渡で20センチ」を放送しています。

その低い観測値を聞いたから逃げなかったという話もありますが、私はそういうことではないと思います。海の近くで大きな揺れを感じたら、何度でも逃げてほしかったなと思っています。



備えのない一人暮らしを反省

(仙台市宮城野区 30代男性 会社員)

仕事中に地震が発生。事務所内はありとあらゆるものが倒れてきましたが、けが人もなく、全員無事でした。

その後、外に出ていた社員の安全と田舎の両親に無事なことを報告、幸いにもタイミングが良かったのか、メールで連絡をとることができて一安心。

その後は一人暮らしの寮に戻りましたが、メチャメチャな状態…。一人暮らしの寮住まいのため、普段は自炊を全くせず、毎日の食事は外食とコンビニで冷蔵庫の中はカラ状態が当たり前でした。

田舎の両親に物資の発送をお願いしようとしたのですが、震災発生直後は、宅配便も動かなかったため支援物資も届かず、スーパーもコンビニもダメ…。大変な思いをしました。

今回の震災で食料の大切さを感じました。もし一日前に戻れるなら、缶詰等の食料を買っていたと思います。



出典：内閣府「一日前プロジェクト」<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/index.html>

宮崎県危機管理局危機管理課

〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号(宮崎県防災庁舎3階)

TEL:0985-26-7066 FAX:0985-26-7304

E-mail:kiki-kikikanri@pref.miyazaki.lg.jp

宮崎県防災・防犯情報メールサービス実施中!

気象情報や災害時の防災情報、防犯情報、家畜疾病情報などを無料配信します。

bousai.miyazaki-pref@raidan2.ktaiwork.jp宛てに

空メールを送信してください。

(登録無料・パケット通信料のみ自己負担)

宮崎県防災メール

検索

登録
方法

